

(13) 令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市母子・父子福祉センター		
所在地	四日市市諏訪町2番2号 四日市市総合会館4F		設置年月：平成2年8月1日
指定管理者	名称	社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会	
	代表者	会長 伊藤 八峯	
	住所	四日市市諏訪町2番2号	
担当部課 (問合せ先)	こども未来部 こども家庭課 TEL：059-354-8276 E-mail：kodomokatei@city.yokkaichi.mie.jp		
設置目的	ひとり親家庭の心身の健康を保持し生活の安定と向上を図るため、ひとり親家庭等からの各種の相談に応じるとともに、生活指導及び生業の指導を行う等の福祉の増進のための便宜を総合的に供与することを目的として設置。		
設置の根拠 (法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法及び四日市市母子・父子福祉センター条例		
施設の概要	敷地面積(m ²)	-	延床面積(m ²) 223.03
	設備の概要	四日市市総合会館4階の一部を事務室(相談室含む。)として使用しているほか、講座・自主サークル事業においては、別途技能習得室や会議室も、用途、人数に応じて活用している。	
	事業概要	①ひとり親家庭等を対象とした各種相談受付 ②技能習得や仲間づくりを通じた生活の安定向上と自立支援のための講座等の企画実施 ③利用者の交流、親睦、協力関係を深めるための自主サークル事業の支援 ④親子や事業参加の家族同士が交流を深めることを目的とした事業 ⑤ひとり親家庭等の福祉の向上に取り組む関係団体の主体的活動を促進するための支援 ⑥施設の使用許可に関する業務	

■ モニタリングの総合コメント

仕様書、要項及び協定に基づき、適切に施設管理・運営が行われており、指定管理者として市が要求する基準はクリアしています。

令和4年度は、自主サークル支援事業の参加者数は令和3年度と同水準程度となっていますが、相談受付件数は年々増加している中で安定的な施設運営が確保され、ひとり親家庭等の支援にあたることができたと考えられます。

技能習得講座については、昨年度と比較すると参加者数は減少しました。前年度が大幅に参加者数が増加したこともありますが、同じ事業を継続実施するにしても、きめ細やかな工夫を行うことや参加者へのアンケート実施から要望や課題を取り入れて事業自体の魅力をさらに高めていく必要があります。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

施設の価値を高め、よりよい管理運営のために下記の点を踏まえた働きかけや改善提案を行います。

新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで自主サークル事業や交流講座への参加が増えてくるにあたり、自主サークル事業への支援や講座実施の広報活動をどのように行っているかを確認します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による就業の相談や貸付を利用した方への対応、物価の高騰等の現在の社会情勢に合わせたひとり親の支援内容を適切に行えるよう求めていきます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

ひとり親家庭等からの相談受付、ひとり親家庭等の就労のための技能習得及び交流のための講座を企画するとともに、四日市母子寡婦福祉会の支援や自主サークル事業の支援を行いながら、ひとり親家庭同士の交流の場や機会を提供することにより、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るという施設の目的に沿った運営管理が行われました。同時に、施設の使用許可を含め、市民の平等な利用の確保に努めました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

ひとり親家庭等の就労のための技能習得としてパソコン講座、親子や参加家族同士の交流を深めることを目的とした交流事業として飾り巻き寿司講座や親子デイキャンプが行われ、受講者の満足度も高く、一定の評価ができます。相談事業に関しては、年々相談件数が増加している中でも適切な情報提供を行うとともに、こども家庭課等の関係機関との連携により適切な対応が行われていました。自主サークル事業に関しては、参加者は昨年度と同水準ではあったものの、社会福祉協議会の広報誌等で周知活動を行っており、一定の評価をすることができます。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

条例や規則を遵守し、適切な事業運営がなされました。センターは、2名常駐となるよう、嘱託職員1名及び臨時職員2名、社会福祉協議会正職員(兼務)1名が交代で事務所に在席しました。朝礼は毎日欠かさず行われ、現場と社会福祉協議会事務局との間の連携が図られました。職員への研修としては、定期的にこども家庭課の職員である母子父子自立支援員へ依頼をして、ひとり親家庭等への支援施策の勉強会を開催し、センター職員の責任性・実行性の向上に努めました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

毎日の利用状況や事業に関する事務書類を遅滞なく整備し、市への報告期限についても協定通り遵守されました。経理関係については、社会福祉協議会事務局で適切な管理が行われました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

総合会館での安全管理及び緊急時対応を念頭におきながら、社会福祉協議会事務局と情報共有等の連携を図り、緊急時・災害時に備えました。四日市市社会福祉協議会第1次事業継続計画(BCP)には緊急時の対応が明記されており、当該計画の内容を職員一人ひとりが理解するよう努めました。防災訓練については、社会福祉協議会で行われた訓練にセンター所長が参加し、その他の職員に対してはその内容を共有するなどして、防災意識を高めました。

社会性（環境等への配慮）

コピーの裏紙利用、廃棄物の分類、不要な電灯の消灯など、センター職員自身が環境負荷を軽減するという視点を忘れず、利用者に対しても同様のことを求める等、環境への配慮が徹底されました。

事業収支

経済性

社会保険加入の適用拡大による人件費増額はあったものの、施設の経費節減や業務運営の改善による支出抑制に取り組みました。

団体の経営状態

経営の健全性

令和4年度の財務諸表（貸借対照表、資金収支決算書、事業活動収支決算書）などを分析した結果、法人全体としての資産・負債の健全性は維持されていて、特段の問題は生じておらず、今後も継続的・安定的にサービスを提供することが可能であるものと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率については3.13%（令和3年度 2.42%）と昨年度より増加しました。障害者雇用に向けた取り組みが維持されていました。

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	243日	243日	0日	計画通りに開館されました。	適
開館時間	8:30~17:15	8:30~17:15	計画通り		
委託・提案事業開催数	4回	4回	0回		
自主事業開催数	-	-	-		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人	3,261人	3,911人	650人	年々増加する利用者に対し、限られた人員で必要な方への支援が行っていました。	適
	団体	-	-	-		
	計	3,261人	3,911人	650人		
	委託・提案事業参加者数	620人	506人	△ 114人		
	自主事業参加者数	-	-	-		
合計	3,881人	4,417人	536人	委託・提案事業の内、技能習得講座が対前年度比較で減少、自主サークル事業については、昨年度同水準の参加者数となっています。		
延べ利用件数	365件	364件	△ 1件			
平均利用人数 (人/日)	16人	18人	2人			
平均稼働率 (%)	66.6%	66.6%	0			

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
収入	利用料金	-	-	-	収入は指定管理料のみです。	適
	指定管理料	8,217,000	8,217,000	0		
	委託・提案事業	-	-	-		
	自主事業からの繰入金	-	-	-		
	計	8,217,000	8,217,000	0		
支出	人件費	6,898,000	7,224,124	326,124	〔勤務体制：正職員1人、嘱託職員1人、臨時職員2人〕 ・人件費は社会保険の適用拡大による臨時職員の支出が増加しました。 ・消耗品費は、広報にかかるインク代等の費用が見込みより少なかったため費用が減少しました。 ・賃借料は、コロナ感染防止のため作品展を中止したことにより、パーティーを借りる費用がなくなったため、支出が減少しました。	適
	管理費	816,000	632,824	△ 183,176		
	消耗品費	225,000	173,056	△ 51,944		
	燃料費	0	0	0		
	印刷製本費	20,000	11,550	△ 8,450		
	光熱水費	-	-	-		
	修繕料	20,000	6,600	△ 13,400		
	通信運搬費	12,000	13,800	1,800		
	広告料	0	0	0		
	手数料	11,000	2,500	△ 8,500		
	保険料	6,000	5,520	△ 480		
	委託料	0	0	0		
	賃借料	520,000	419,798	△ 100,202		
	その他	2,000	0	△ 2,000		
	委託・提案事業費	464,000	456,841	△ 7,159		
一般管理費	39,000	38,448	△ 552			
計	8,217,000	8,352,237	135,237			
収支	0	△ 135,237	△ 135,237			
自主事業	収入	-	-	-	自主事業なし	-
	支出	-	-	-		
	収支	-	-	-		

総合コメント

委託・提案事業の内、技能習得事業の参加者数は前年度と比較すると減少しました。前年度は例年より参加者が多かったこともありますが、同じ事業を継続実施するにしても、きめ細やかな工夫を今後も行うことや、参加者へのアンケート結果等から課題を把握してより効果的で魅力あるものにしていく必要があると考えます。
収支については赤字となりましたが、事業計画の範囲内において適正に執行されており、サービスの継続的、安定的な提供に問題は無いと判断しました。

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>相談件数は前年度より増加しました。（令和3年度：3,261件→令和4年度：3,911件）委託・提案事業参加者数は前年度より減少しました。（令和3年度：620件→令和4年度：506件）</p> <p>相談受付件数は、年々増加している中で安定的な施設運営が確保され、ひとり親家庭等の支援にあたることができたと考えられます。</p> <p>委託・提案事業の中の技能習得講座の参加者数が前年度より減少しました。技能習得講座は、受講者と講師で相談の上、自由に実施回数を決めることができるようになっていきます。前年度は資格取得のためにほぼ毎日通った受講者もあり、延べ人数での換算のため昨年度と比較すると参加者数としては減少しているものの、受講者のニーズに合わせた講座を運営することができました。</p>	適
事業 収支	収入	収入は市からの指定管理料のみです。	適
	支出	<p>社会保険の適用拡大に伴って臨時職員の加入者が増えたことにより、人件費が計画額を上回りました。</p> <p>他の支出科目においては、節減に取り組めており評価することができます。</p>	適

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否	
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	年度当初書面確認	明確になっている。	適	
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	-	-	-	
	報告書等の提出		各業務計画書・報告書は提出されたか	3/31書類確認	仕様書通りに提出された。	適
			自主事業の計画書・報告書は提出されたか	-	-	-
			収支予算書・決算書は提出されたか	3/31書類確認	仕様書通りに提出された。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	定期的に訪問し、情報共有を行った。	適	
	各種管理記録等の整備保管		各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている。	適
			業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている。	適
			整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月現地確認	整備、保管されている。	適
			付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	-	-	-
	非常時・緊急時の対応		緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	毎月現地確認	仕様書通りに実装されている。	適
			緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	-	-	-
事故等の報告書が提出されたか			-	-	-	
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	-	-	
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	-	-	-	
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている。	適	
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか 法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	- -	- -	- -	
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている。	適	
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	毎月現地確認	適切に行われている。	適	
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	-	-	-	
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	-	-	-	
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	-	-	-	
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	-	-	-	
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	毎月現地確認	適切に管理されている。	適	
	防災	マニュアルは作成されているか	毎月現地確認	作成されている。	適	
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	-	-	-	
	花壇管理	四季の植栽は適切か	-	-	-	
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	毎月現地確認	整備されている。	適	
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	毎月画面確認	更新されている。	適	
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	-	-	-	
	システム管理	更新・変更は常になされているか	-	-	-	
		トラブルに対応したか	-	-	-	

総合コメント

報告書等の提出は遅滞なく行われており、適切に業務が行われました。緊急事態の対応等も社会福祉協議会と共有しており、問題はありませんでした。

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 事業の実施状況 チェックシート

事業区分	通し番号	項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
委託・提案事業	1	技能習得事業(パソコン)	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進するための技能習得講座として、パソコン講座を開催6名まで。 令和4年8月～令和5年3月 実施回数は受講者と相談	73回、述べ123人の受講があった。	実施回数を受講者と講師との相談で決めるというやり方を継続し、参加者の希望に沿った内容に合わせた講座運営を行っており、計画通りすることができた。	適
	2	交流事業(デイキャンプ)	ひとり親家庭の親子を対象に普段できないアウトドアの体験を通じて親子やひとり親家庭同士の交流の場を提供する。 6組程度を予定	1回、9人(4組)の参加があった。 2組キャンセル。	市の広報の掲載や過去の利用者への案内を行い、広報活動を実施した結果、募集予定人数に近い参加者数であった。	適
	3	交流事業(飾り巻き寿司)	ひとり親家庭の親子を対象に飾り巻き寿司と一緒に作ることを通じて親子やひとり親同士のコミュニケーションを取る機会を提供する。 6組程度を予定	1回、10人(4組)の参加があった。 2組キャンセル。	市の広報の掲載や過去の利用者への案内を行い、広報活動を実施し、募集予定人数に達した。	適
	4	サークル(書道)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	24回、述べ187人の参加があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	5	サークル(編物)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	23回、述べ99人の参加があった。 新型コロナウイルス感染予防のため、5月の一部は、休講とした。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	6	サークル(和裁)	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月3回	27回、述べ78人の参加があった。 新型コロナウイルス感染予防のため、5月、7月、8月、12月、1月の一部は、休講とした。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適

総合コメント

技能習得事業については、前年度から親子同伴での受講を可能にして、利便性の向上に努めました。講師が受講者の目的に合わせて内容や日程を相談して決めており、利用者にとって自由度が高い講座を計画通り実施することができました。

交流事業については、ほぼ計画通りの参加者数で実施できており、親・子それぞれにアンケートを行いながら、参加者の意見を反映させて、よりよい事業となるよう努めている点が評価できます。

自主サークル事業については、新型コロナウイルスの影響による行動制限が緩和されてきましたが、前年度と同水準程度の参加にとどまりました。

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 事業の実施状況 チェックシート③-1

事業区分	通し番号	項目	参加者数			収入		
			計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比
委託・提案事業	1	技能習得事業(パソコン)	249人	123人	△ 126人	-	-	-
	2	交流事業(デイキャンプ)	9人	9人	0人	-	-	-
	3	交流事業(飾り巻き寿司)	13人	10人	△ 3人	-	-	-
	4	サークル(書道)	222人	187人	△ 35人	-	-	-
	5	サークル(編物)	68人	99人	31人	-	-	-
	6	サークル(和裁)	59人	78人	19人	-	-	-

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	情報交換、連絡が毎月1回のペースで行われた。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	毎月現地確認	保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	毎月現地確認	適切に対応できた。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	毎月現地確認	報告があり適切に対応した。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	毎月現地確認	報告があり適切に対応した。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	毎月現地確認	適切に対応できた。	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	-	-	-
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	-	-	-
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	-	-	-
	修理	修繕工事は適切であったか	-	-	-

総合コメント

備品・什器の保守管理は適切にされていました。
 1件プリンターが印刷不明瞭になったため、修繕が必要になりましたが、市に報告し、適切に対応していました。

令和4年度 四日市市母子・父子福祉センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	毎月現地確認	スムーズに予約できた。	適
		許可証は速やかに発行されたか	毎月現地確認	速やかに発行された。	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	開催案内報告書確認	実施の1～2ヶ月前に案内しており、適切である。	適
		ホームページは見易いか	毎月画面確認	画面構成・内容とも分かりやすいものであった。	適
	受付・対応業務	担当者の接客態度は良かったか	毎月現地確認	良好であった。	適
		利用者に対する指導は適切であったか	毎月現地確認	適切であった。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	毎月現地確認	適切であった。	適
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート	アンケートの結果を確認し、満足のいく内容であった。	適
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	-	-	-
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	-	-	-
	安全管理業務	避難経路には障害物がないか	毎月現地確認	適切に管理されていた。	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	-	-	-
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	-	-	-
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	-	-	-
		草刈りや除草はされているか	-	-	-
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	毎月現地確認	快適に利用できる環境であった。	適
廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	毎月現地確認	適切に分別が行われていた。	適	
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はなかった。	適	

総合コメント

運営・維持管理業務については、毎月1回のペースで担当の職員が現地に訪れてサービスの質を確認しましたが、適切に管理されていました。

参加者や講師の方からもセンター職員の利用者への連絡含め丁寧な対応が評価されました。

交流事業では、親用と子ども用でアンケート用紙を分けて用意し、次回以降の事業へのつながりを意識した活動を行うことができました。